

夏休みは図書館へ
遊びにきませんか？



まどかぴあ図書館では
・本や雑誌が30冊
・CDが3点
2週間貸出できます。

貸出には登録が必要です
住所・生年月日が記載されている
証明書(学生証や保険証など)を
持って来てください。



●学習室のご案内● ※学習のみ。遊戯や会合はできません。

午前(9時~12時)	200円(学生100円 要学生証)
午後(13時~17時)	200円(学生100円 要学生証)
夜間(18時~21時)	200円(学生100円 要学生証)

※小・中学生のみでの利用は、9時から17時までです。

- ・まどかぴあ1階総合案内で「学習室利用申込み」を行ってください。
- ・施設の休館日を除く土・日曜、祝日、及び大野城市立小・中学校の夏休み・冬休み・春休み期間の毎日、会議室が空いている時に限り有料で学習室として開放しています。

※図書館の中に自習スペースはありません。

～図書館の開館時間～

開館時間 日曜日～木曜日 10:00～18:00
金曜日 10:00～20:00
土曜日 10:00～19:00

休館日 毎月第1・3水曜日(祝日の場合は翌日)

大野城まどかぴあ図書館

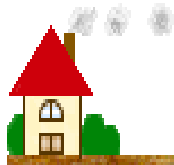
第36号
2019夏号

10代のための図書館情報誌

わいわいばら



まどかぴあ図書館には、10代の方に読んでもらいたい本を集めたYAコーナーがあります。



おすすめの本



『ぼくらのセイキマツ』

伊藤 たかみ／著 （理論社）〔YA／イト〕

1998 年夏。ノストラダムスの予言によると、世界は来年の 7 月に終わるらしい。けれどもその前に、ぼくたちには高校受験がある。ぼんやりした未来に活力を見いだせない主人公いっせーは、夏休みに「青春体験」をしに海へ行くことに。一緒に行くのは親友のヒロとゾンビみたいな人形（通称ソビ子）を手放せないナナコ。ナナコとソビ子、そして3人の関係性は、夏とともに変わっていきます。



『ミラクル』

シヴォーン・パーキンソン／著 （金の星社）〔933／パ〕

ミランダには重い病気を抱えた姉、ジェンマがいる。ある日から姉の病状は悪化し、両親は姉につきっきりとなってしまった。ミランダは寂しさや不安から逃げるために、空想の国の地図を作ることに。すると、不可能だと思っていた奇跡のようなことが何度も起き、自分は奇跡を起こせるのではないかと思いはじめる。そして、ジェンマのために奇跡を起こそうと空想の国の地図を完成させていく。



輝く明日へ



『七月に流れる花』

恩田 陸／著 （講談社）〔YA／F／オン〕

ミチルは終業式の帰り道に林間学校への招待状を受け取った。参加者はクラスメイトや年齢の近い女の子6人で、「夏の城」と呼ばれる場所で夏休みを過ごすことに。転校してきたばかりのミチルは林間学校の意味が分からないまま過ごしていたが、他の子たちは何かミチルに隠しているようで…。同じ頃「夏の城」にいた、男の子たちのお話を書いた『八月は冷たい城』もあります。

『アンネのこと、すべて』

アンネ・フランク・ハウス／編 （ポプラ社）
〔DE／289／フ〕

アンネ・フランクが、迫害から逃れるために潜んでいた隠れ家での日々をつづった『アンネの日記』は、いまでも世界中で読みつがれています。実際の隠れ家の中はどんな間取りだったのか？なぜユダヤ人は迫害されたのか？隠れ家を資料館として保存する、アンネ・フランク・ハウスに届いた質問、戦争の歴史、アンネのことすべてを、たくさんの資料とともにたどります。

